

国土交通省におけるクルーズ振興の 取組について

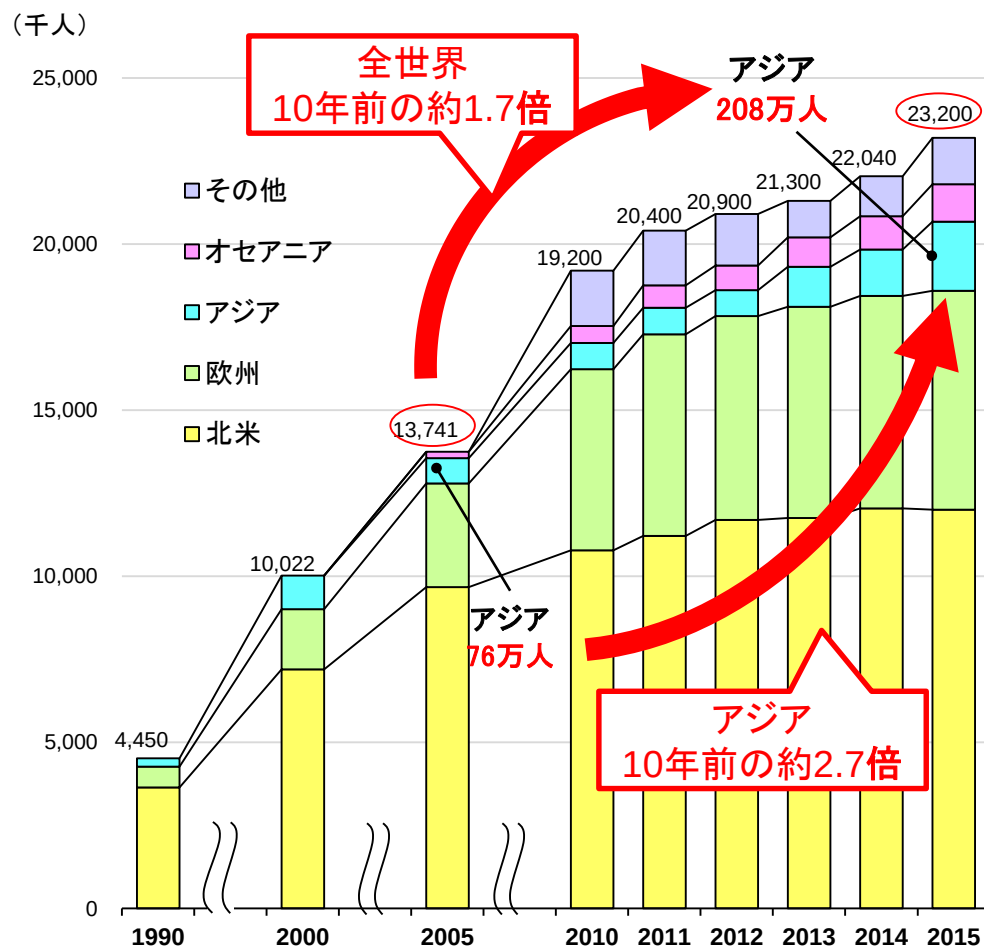
港湾局 産業港湾課

平成29年6月9日

世界のクルーズ人口の推移とマーケットの構造

- 世界のクルーズ人口は2,320万人(2015年)で、10年前の約1.7倍と、急速に増加。
- 中でもアジアのクルーズ人口は208万人(2015年)で、10年前の約2.7倍と特に、大きな伸びを示している。また、将来的にも更なる増加が見込まれている。

世界のクルーズ人口の推移



将来のアジアのクルーズ人口の見込み

中国政府:
中国のクルーズ旅客数は、2013年から年平均33%で増加し、2020年までに450万人に達する
(出典) 中国交通运输部「クルーズ運輸業の健全な発展の持続促進に関する指導意見(2014.3.18)」

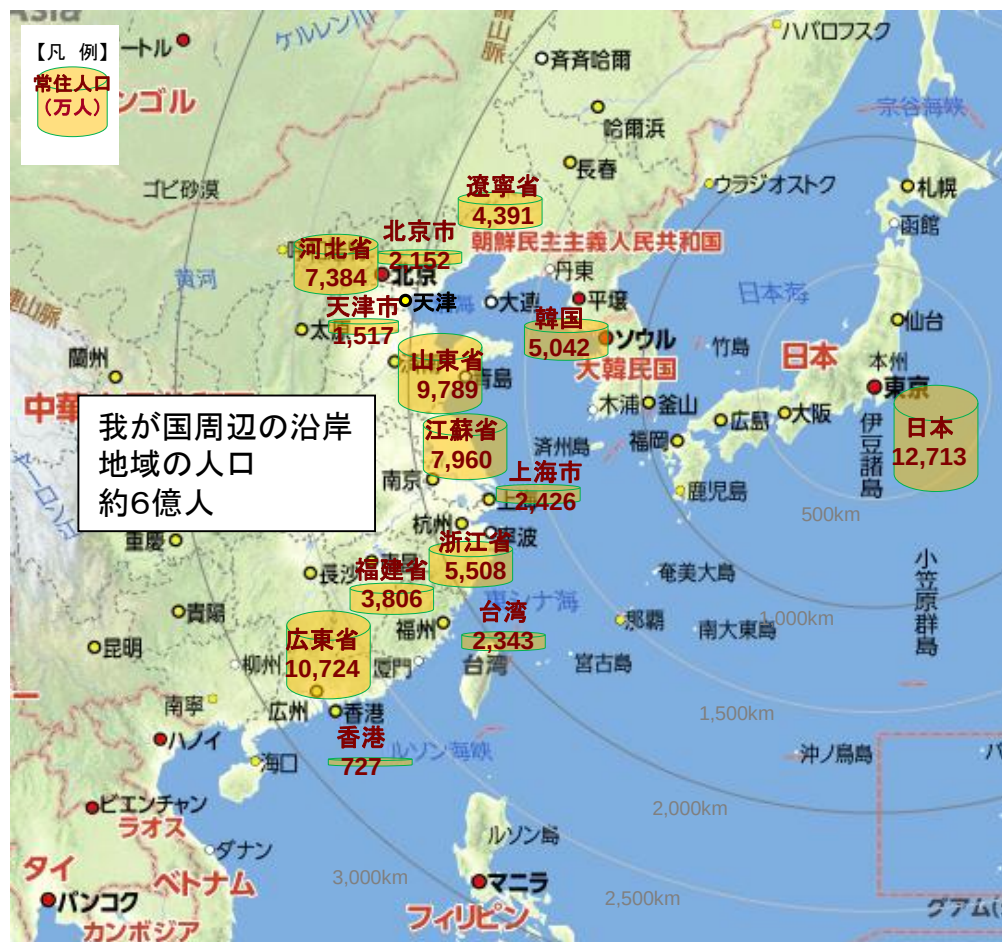
Seatrade Asia Pacific Cruise Congress(2016年10月、上海)におけるMSC中華圏代表Helen HUANG氏の発言:
CLIAが、2015年に100万人に近くであった中国のクルーズ人口が、2020年までに450万人に達すると予測していることについて、「簡単なことではないが、中国では可能。」
(出典) Seatrade Asia Pacific Cruise Congress HP(2016.10.13)

カーニバル社のAlan Buckelew氏(当時COO、現CIO):
中国のクルーズ人口が2020年までに500万人に達する
(出典) ザ・ウォール・ストリート・ジャーナル電子記事(2015.1.21)

成長著しい北東アジアに位置する日本～地理的に優位性のある日本～

- 我が国周辺の沿岸地域（中国主要沿海10省市、韓国、香港、台湾）の常住人口は約6億人。
- 国・地域別の訪日外国人旅行者数は、中国、韓国、台湾などアジアからの旅行者が8割強を占める。
- 中国をはじめとする近隣諸国・地域の経済成長とともに観光客の増加が期待される。

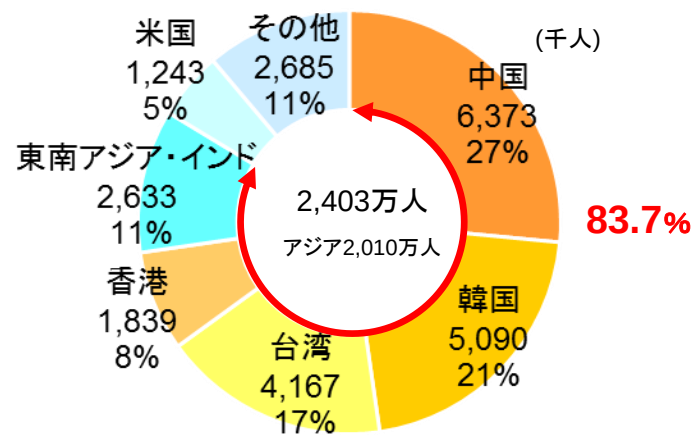
我が国周辺地域の人口



(※ 2014年の人口)

出典：日本貿易振興機構（JETRO）「国・地域別情報」、中国国家统计局「China Statistical Yearbook」より港湾局作成

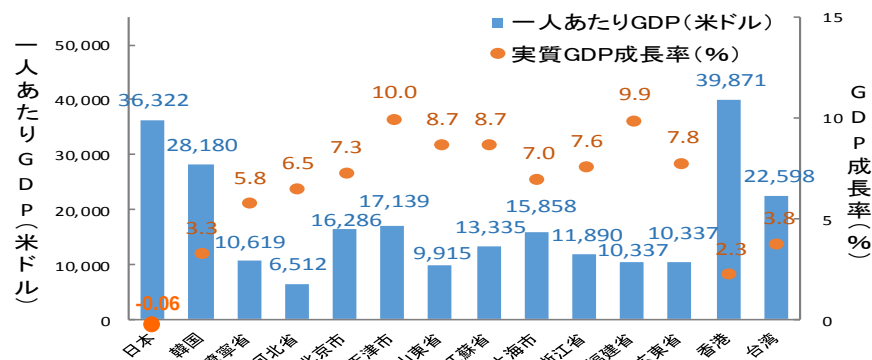
国・地域別訪日外国人旅行者数の割合（2016年推計値）



出典：日本政府観光局（JNTO）資料より港湾局作成

※「東南アジア・インド」にはタイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インドを含み、「その他」には上記以外のアジアの国を含む。

我が国周辺国・地域の1人あたりGDPとGDP成長率（2014年）



出典：日本貿易振興機構（JETRO）国・地域別情報

○ 2017年以降も引き続き、世界のクルーズ船社によるアジア市場への進出が見込まれている。

2017年に日本へ初寄港する予定の主なクルーズ船

プリンセス・クルーズ社[米]は、2017年7月、新たに中国市場へ新造船「マジェスティック・プリンセス」(定員3,560名)を配船し、合計3隻※で運航予定(上海発着)。

※マジェスティック・プリンセス、ダイヤモンド・プリンセス、サファイア・プリンセス



マジェスティック・プリンセス(プリンセスクルーズ[米])
総トン数14.3万トン、乗客定員3,560人

コスタ・クルーズ社[伊]は、2017年の日本海周遊クルーズに、「コスタ・ネオロマンチカ」(定員1,572名)を配船し、32回運航予定。コスタ・クルーズ社は2017年は、合計5隻※で運航予定。

※コスタ・ネオロマンチカ、コスタ・ビクトリア、コスタ・アトランチカ、コスタ・セレーナ、コスタ・フォーチュナ



コスタ・ネオロマンチカ(コスタクルーズ[伊])
総トン数5.7万トン、乗客定員1,572人

ノルウェー・ジャンクルーズライン社(NCL社)[米]は、2017年夏、新たに中国市場へ進出。新造船「ノルウェー・ジャン・ジョイ」(定員4,248名)を配船予定(上海・天津発着)。



ノルウェー・ジャン・ジョイ(NCL社[米])
総トン数16.5万トン、乗客定員4,248人

ドリームクルーズ社[香港]は、2017年4月から、「ゲンティン・ドリーム」(定員3,352名)を香港発着沖縄寄港クルーズへ配船予定。



ゲンティン・ドリーム(ドリームクルーズ社[香港])
総トン数15.1万トン、乗客定員3,352人

2018年以降の動き

ORCI社は、世界最大のオアシス・オブ・ザ・シーズ級(定員5,400名)を、早ければ2018年に、アジアへ配船予定。

○カーニバル社[米]、アイダ社[独]が、定員2,000名超のクルーズ船をアジアへ配船予定。

OMSC社[伊]が、2018年から定員3,000名超のクルーズ船をアジアへ配船予定。2隻体制へ規模を拡充。

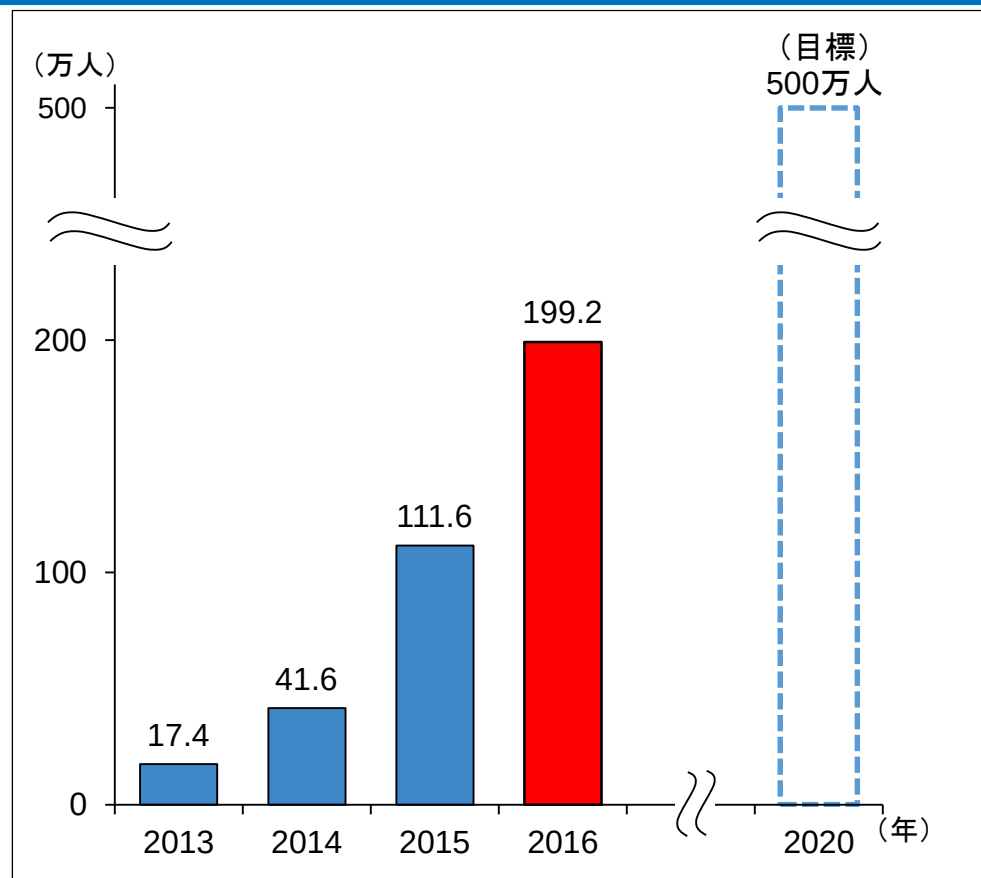
ONCL社[米]が、2018年から定員2,000名超のクルーズ船をアジアへ配船予定。2隻体制へ規模を拡充。

日本海事新聞、海事プレス、ヒアリング等を元に、
国土交通省港湾局作成

クルーズ船の寄港に関する状況

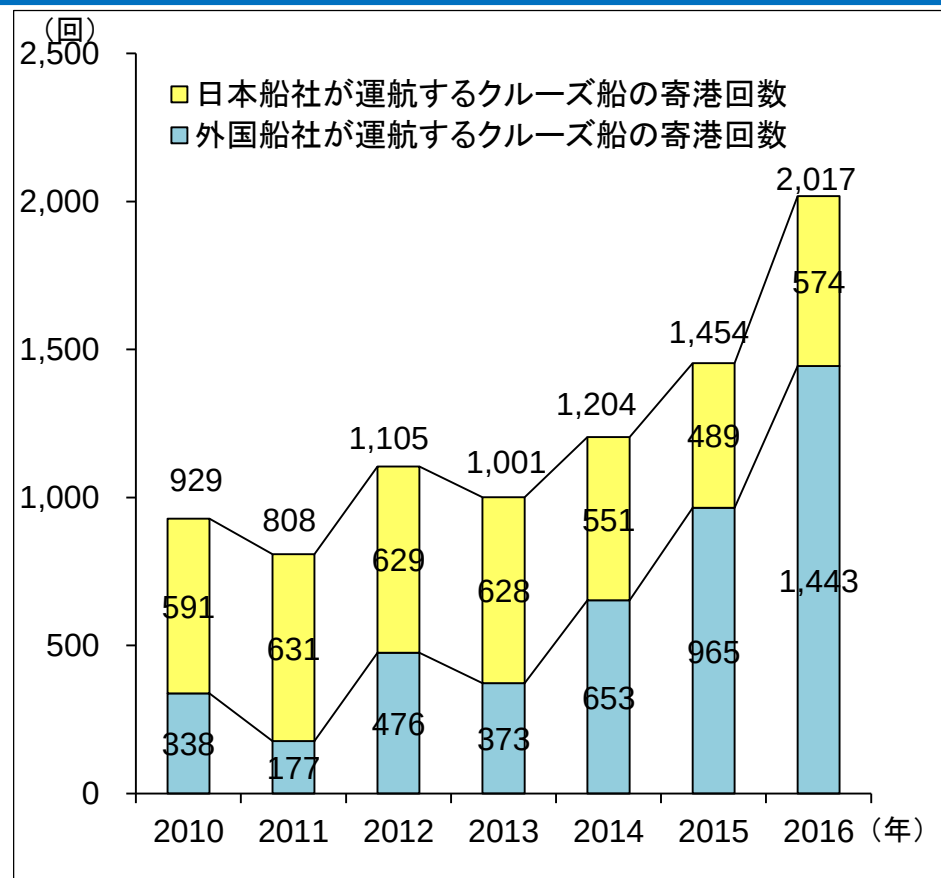
○2016年の訪日クルーズ旅客数は前年比78.5%増の199.2万人、我が国港湾への寄港回数は前年比38.7%増の2,017回（外国船社1,443回、日本船社574回）となり、いずれも過去最高。

※クルーズ：レジャーを目的とした船旅で宿泊を伴うもの



注1) 法務省入国管理局の集計による外国人入国者数で概数(乗員除く)。

注2) 1回のクルーズで複数の港に寄港するクルーズ船の外国人旅客についても、(各港で重複して計上するのではなく)1人の入国として計上している。



注) 港湾管理者への聞き取りを基に国土交通省港湾局作成

クルーズ船の寄港する港湾

- 2016年にクルーズ船が寄港した港湾の数は、全国で123港(2015年は104港)。
- このうち、大型クルーズ船(10万総トン数以上)が寄港した港湾は26港。

クルーズ船の寄港する港湾(2016年)

凡 例	
●	100回以上
●	50回以上 ~ 100回未満
●	30回以上 ~ 50回未満
●	10回以上 ~ 30回未満
●	5回以上 ~ 10回未満
○	5回未満



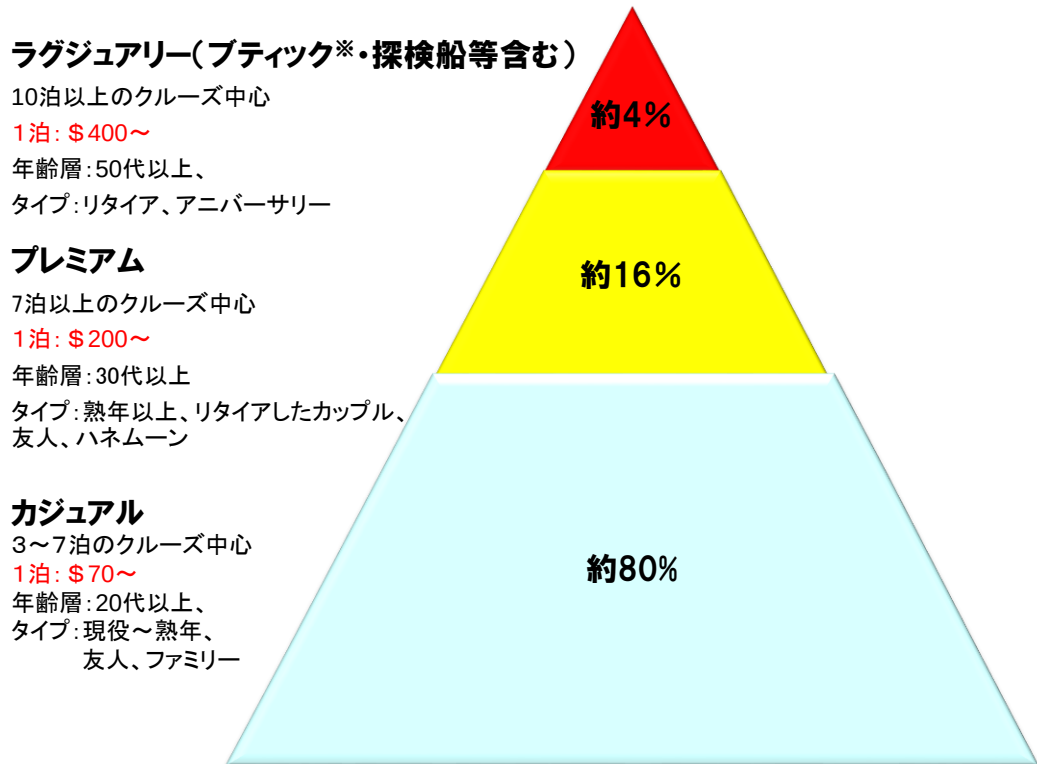
2016年クルーズ船の寄港回数(上位10港)

順位	港名	寄港回数
1位	博多港	328回
2位	長崎港	197回
3位	那覇港	193回
4位	横浜港	127回
5位	神戸港	104回
6位	石垣港	95回
7位	平良港	86回
8位	鹿児島港	83回
9位	佐世保港	64回
10位	広島港	47回

○クルーズは、価格やサービスによってラグジュアリー、プレミアム、カジュアルなどのタイプがあり、カジュアルクラスがマーケット全体の約8割を占めている。

○日本への寄港回数に関するマーケット別の割合については、ラグジュアリーが約11%、プレミアムが約44%、カジュアルが約45%。

世界のクルーズマーケットのイメージ
(乗客定員ベース)



我が国へのクルーズ船のカテゴリー別寄港割合

カテゴリー	寄港回数	割合
ラグジュアリー	225	11%
プレミアム	882	44%
カジュアル	910	45%
合計	2,017	100%

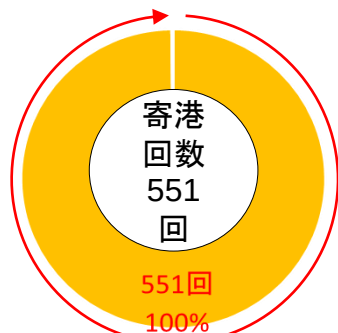
※小型の豪華客船によるクルーズ。料金は1泊あたり600米ドル以上。

出典:クルーズ教本(平成28年版)(JOPA)より港湾局作成

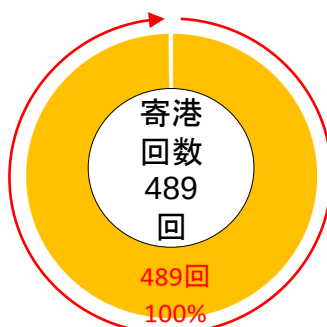
日本発着クルーズの動向①

○ 平成28年の日本船社による日本発着クルーズの回数は前年比17.4%増の574回、外国船社による日本発着クルーズの回数は前年比37.0%増の311回となりいずれも増加。

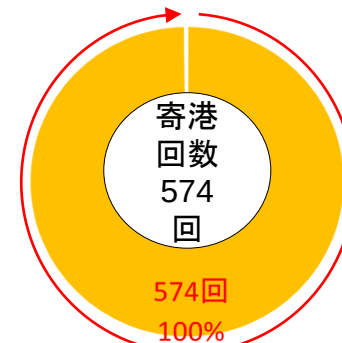
平成26年



平成27年

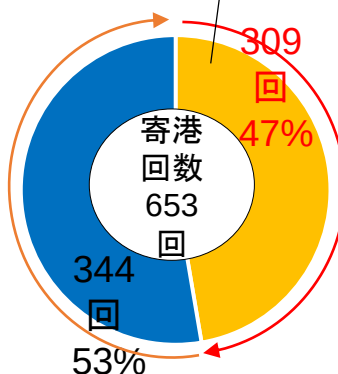


平成28年

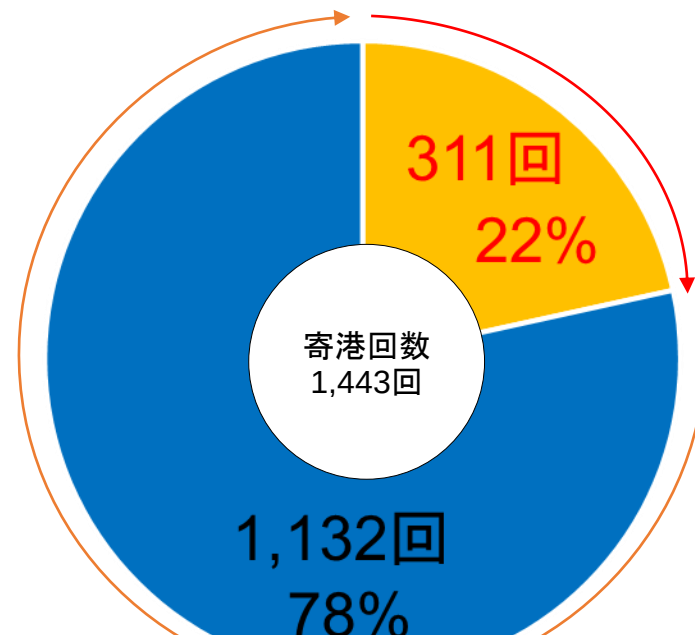
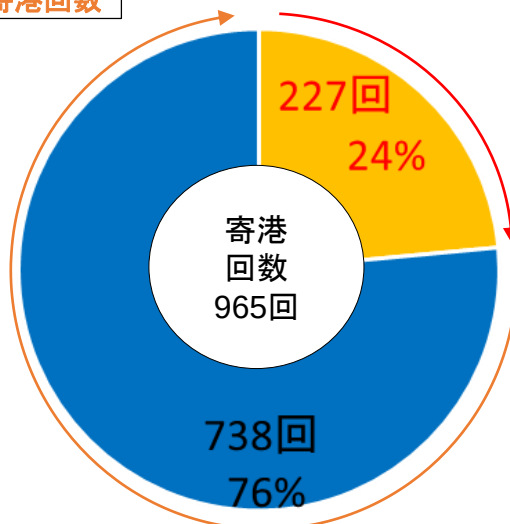


日本船社
すべて日本発着クルーズの寄港

日本発クルーズ
(例:ダイヤモンド・プリンセス)の寄港回数



外国発クルーズの寄港回数



日本発着クルーズの動向②

○かつて、外国船については、GWなどにスポット的にチャーター運航される程度であったが、2013年以降、プリンセス・クルーズ、コスタ・クルーズ、キュナード・ライン、スター・クルーズが順次、日本発着クルーズに進出。
○2017年からコスタ・クルーズ、2018年からプリンセス・クルーズが日本発着クルーズを通年化する予定。加えて2018年に、新たな船社(MSC、ノルウェージャン)が日本発着クルーズを試行予定であり、日本発着クルーズが徐々に拡大中。

プリンセス・クルーズ社

2013年から5年連続で日本発着クルーズを就航。

2016年度(計22本)

- ・期間: 7～9月
- ・寄港地: 18港

2017年度(計28本)

- ・期間: 4～10月
- ・寄港地: 19港
(石垣、敦賀、広島に初寄港)

2018年度(計32本)

- ・期間: 4月～10月 (23本)
- ・寄港地: 29港

(酒田、石巻、四日市、鳥羽、岩国等初寄港)

※2018年11月～2019年3月: 通年配船(9本)



ダイヤモンド・プリンセス
総トン数11.6万トン
乗客定員2,706人

キュナード・ライン社

2016年から3年連続でクイーン・エリザベスによる日本発着クルーズを運航。

コスタ・クルーズ社

2016年から日本海側で主に日本人を対象に日本発着周遊クルーズを開始。



2017年度(計48本)

- ・船舶: コスタ・ネオロマンチカ
- ・期間: 4～10月 (32本)
- ・寄港地: 左図5港(博多、舞鶴、金沢、境港、釜山)に加え、新潟、酒田、青森、ウラジオストク、ソクチョ(韓国)に寄港



コスタ・ネオロマンチカ
総トン数5.7万トン
乗客定員1,572人

スター・クルーズ社

2017年からインターポーティングによる日本発着周遊クルーズを開始予定。

2017年度(計20本)

- ・船舶: スーパースター・ヴァーゴ
- ・期間: 7～11月 (20本)
- ・寄港地: 発着港としての3港(横浜、大阪、上海)と清水、鹿児島に寄港



スーパースター・ヴァーゴ
総トン数7.5万トン
乗客定員1,870人

MSC、ノルウェージャン

2018年のゴールデンウィーク周辺に、MSC、ノルウェージャンが日本発着クルーズを運航予定。
(日本の旅行会社のチャーターを含む。)



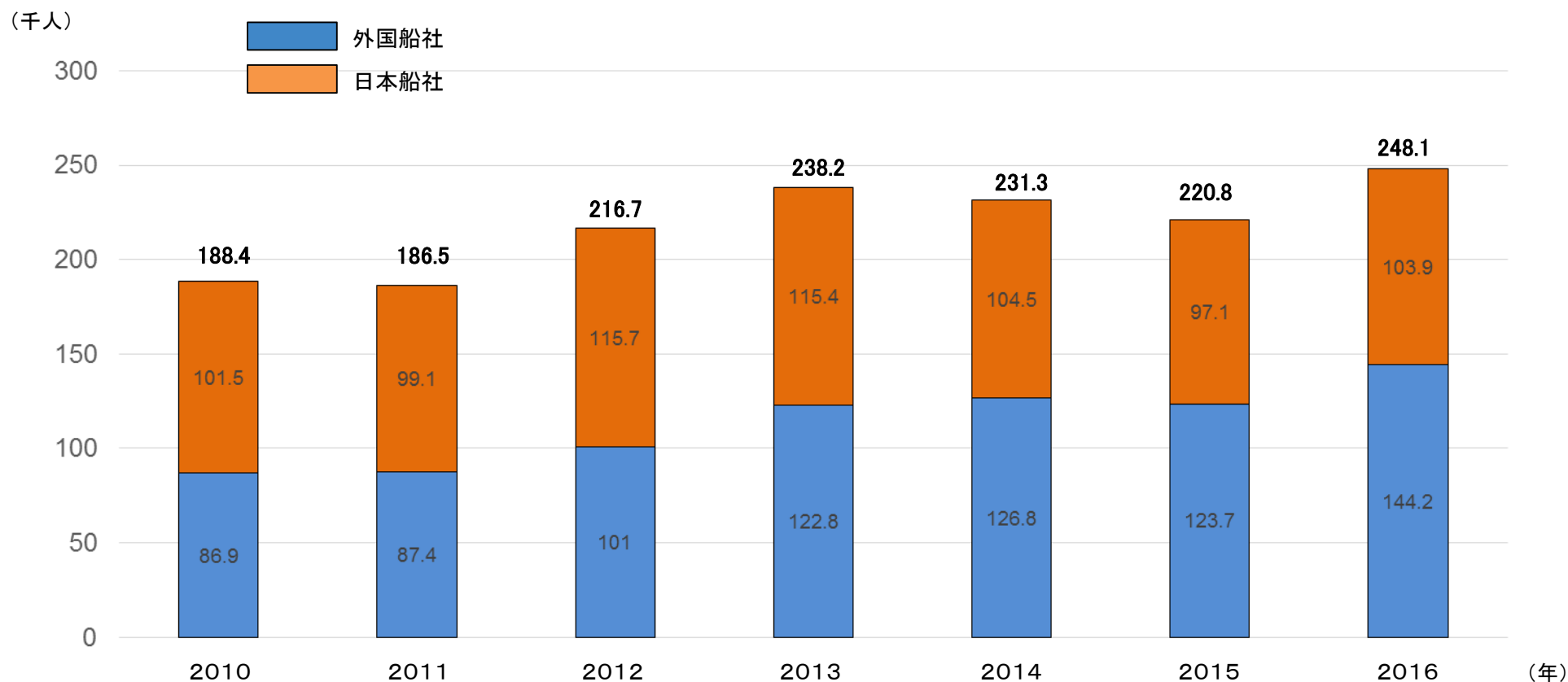
MSCスプレディダ
総トン数13.7万トン
乗客定員3,274人



ノルウェージャン・ジュエル
総トン数9.3万トン
乗客定員2,376人

我が国のクルーズ人口の推移

○我が国のクルーズ人口（日本人乗客数）は平成24年以降、20万人台で推移。



出典：国土交通省海事局外航課発表資料より港湾局作成

(注)クルーズ人口とは、外航クルーズ又は国内クルーズ(国内フェリー含む)を利用した日本人乗客数の合計

○北東アジア海域をカリブ海のような世界的なクルーズ市場に成長させ、クルーズ船の寄港を活かした地方の創生を図る。

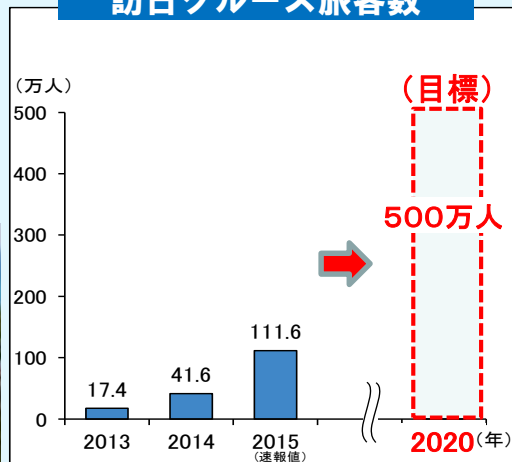
目指すべき将来像

カリブ海クルーズの様子



提供：Royal Caribbean International社

訪日クルーズ旅客数



現状・課題および今後の対応

現状・課題

- 増大するアジアのクルーズ需要を取り込み、クルーズ船の寄港が地域経済に与える効果を拡大することが必要。
- クルーズ船が寄港するための港湾施設や、クルーズ船の寄港に伴い発生する諸課題への対応が不足。
- 寄港地が西日本の一部の港に集中する傾向がある。



今後の対応

**日本の各地をカジュアルからラグジュアリーまで幅広く対応したクルーズディスティネーションに
～瀬戸内と南西諸島を日本のエーゲ海・カリブ海に～**

- **北東アジア海域をカリブ海のような世界的なクルーズ市場に（訪日クルーズ旅客を2020年に500万人、日本の各地をカジュアルからラグジュアリーまで幅広く対応したクルーズディスティネーションに）。**
 - ・クルーズ船寄港の「お断りゼロ」の実現（クルーズ船の受入環境を緊急整備（2015年度・全国10港）、クルーズ船寄港地マッチングサービスの提供 等）
 - ・世界に誇る**国際クルーズの拠点形成**（旅客ターミナル整備への無利子貸付制度の創設等）
 - ・瀬戸内海や南西諸島など新たな**国内クルーズ周遊ルート**の開拓、**ラグジュアリークルーズ船の就航**
 - ・**新たなクルーズビジネスの確立**（官民の関係者からなる地域協議会や全国クルーズ活性化会議の活用、農水産物の販売環境の改善、「みなとオアシス」の活用、港湾協力団体制度の創設 等）
 - ・全国クルーズ活性化会議と連携し、**寄港地の全国展開**に向けたプロモーション

「訪日クルーズ旅客500万人」の実現に向けた取組

北東アジア海域をカリブ海のような世界的なクルーズ市場に成長させ、クルーズ船の寄港を活かした地方の創生を図るため、目標を「訪日クルーズ旅客を2020年に500万人」とし、以下の施策を推進。

1. 「お断りゼロ」の実現

クルーズ船の受入環境の緊急整備

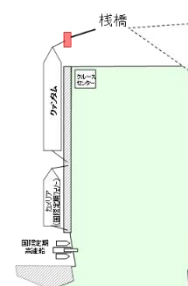
〈清水港〉

新しく設置した係船柱

既存の係船柱

係船柱の整備事例

〈博多港〉



栈橋の整備事例

ハード

クルーズ船寄港地マッチングサービス

クルーズ船社
(代理店)

寄港可能な
港湾を照会
←
寄港可能な
港湾を紹介

国土交通省港湾局
クルーズ
ワンストップ窓口

寄港可能な港湾を
抽出・調整
←
(あらかじめ)
情報を集約

全国クルーズ
活性化会議
(全国125自治体)

ソフト

3. 国際クルーズの拠点形成

官民連携による国際クルーズ拠点の形成

海外におけるクルーズ船社の投資例
ファルマス港(ジャマイカ)



クルーズ船社がショッピングエリアを整備

○岸壁の優先使用を希望する民間の投資意欲を活用し、クルーズ船の受入環境として必要な旅客ターミナルビルの整備を推進

公共(国・港湾管理者)

・港湾施設の整備
・クルーズ船社に対する岸壁の優先的な使用の確保 等

組み合わせ

民間(クルーズ船社)

旅客ターミナルビルの整備
への投資 等

ハード ソフト

2. 寄港地の全国展開

ソフト

商談会の開催

・「全国クルーズ活性化会議」と連携して、クルーズ船社、自治体等が参加する商談会を開催。



寄港地情報の一元的発信

・クルーズ船社が必要とする情報をウェブサイトで一元的に発信
①港湾施設の諸元
②寄港地を起点とした観光情報

新たなクルーズビジネスの活用

ソフト

・みなとオアシスの活用
・港湾協力団体制度の活用
・Wi-Fi(観光拠点情報・交流施設)の整備支援

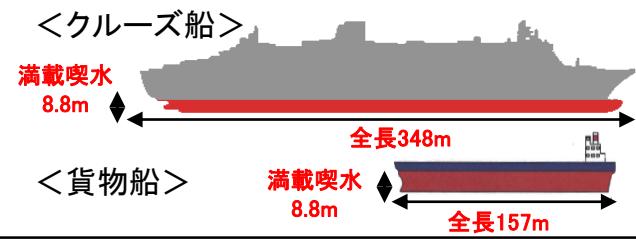
1. 「お断りゼロ」の実現～既存岸壁の活用～

○短期間かつ低コストで寄港を可能とするため、既存の貨物船用バースを改良してクルーズ船に対応。

課題

クルーズ船は、同程度の喫水の貨物船に比べ、

- ①風圧面積が広い
→既存岸壁の防舷材や係船柱では、安全な着岸・係留は困難
- ②船長が長い
→延長不足によりクルーズ船を係留できない岸壁が存在



対策①

■防舷材、係船柱の整備を推進

＜八代港＞

平成26年12月 現地着手(事業費:約2億円)
平成27年 6月 完了、ホイジャ・オブ・ザ・シーズ
(最大定員4000人)寄港



寄港増に対応し、平成28年度末までに防舷材等を整備し、大型クルーズ船の寄港に対応(事業費:約3億円)

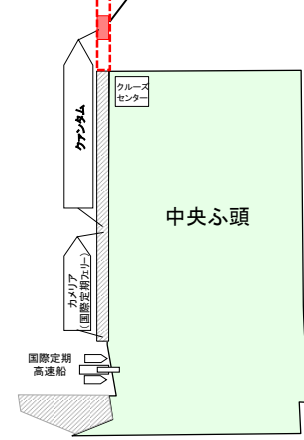


対策②

■ドルフィン・栈橋等により岸壁延長不足に対応し、最大級のクルーズ船の寄港に対応

＜博多港＞

ドルフィン・栈橋(平成30年夏までに供用予定)
栈橋の一部(平成29年度4月に部分供用)



栈橋の一部を部分供用し、アジア最大級のクルーズ船の寄港に対応

平成29年度4月に約16万トンのクルーズ船(アジア最大)対応のため部分供用

平成30年夏までに約22万トンのクルーズ船(世界最大級)対応のため供用予定

2. 寄港地の全国展開～商談会の開催～

○国土交通省港湾局は、外国クルーズ船の我が国港湾への寄港促進を図るため、観光庁と連携し、海外クルーズ船社等と全国の港湾管理者等が参加する「全国クルーズ活性化会議」の会員との商談会を2014年から実施中。
※2017年度以降も引き続き、ラグジュアリークラス・プレミアムクラスのクルーズ船社を中心に誘致予定。

2014年度

■ コスタクルーズ(伊)

- ・日程:2014年12月11日
- ・場所:宮崎市内
- ・参加者:港湾管理者・地方自治体
3港3団体
〔北九州港、佐世保港、細島港〕

■ セレブリティ・クルーズ(米)

- ・日程:2015年1月30日
- ・場所:新潟市内
- ・参加者:港湾管理者・地方自治体
4港5団体
〔青森港、伏木富山港、敦賀港、広島港〕

■ プレステージ・クルーズ(米)

- ・日程:2015年2月20日
- ・場所:北九州市内
- ・参加者:港湾管理者・地方自治体
12港9団体
〔新潟港、金沢港、舞鶴港、境港、岩国港、三田尻中関港、宇部港、下関港、博多港、佐世保港、鹿児島港、名瀬港〕



商談会の様子

2015年度

■ MSCクルーズ(伊)

- ・日程:2015年12月1日
- ・場所:静岡市内
- ・参加者:港湾管理者・自治体等 6港5団体
〔青森港、高知港、北九州港、佐世保港、細島港、油津港〕

■ ポナン(仏)

- ・日程:2015年12月3日
- ・場所:青森市内
- ・参加者:港湾管理者・自治体等 8港7団体
〔網走港、酒田港、鳥取港、高知港、博多港、細島港、宮崎港、油津港〕

■ シルバーシー・クルーズ(モナコ)

- ・日程:2016年2月12日
- ・場所:山口県下関市内
- ・参加者:港湾管理者・自治体等
18港17団体

〔茨城港、横浜港、舞鶴港、鳥取港、浜田港、福山港、高松港、高知港、宿毛湾港、北九州港、博多港、唐津港、熊本港、三角港、八代港、細島港、宮崎港、油津港〕

■ セレブリティ・クルーズ(米)

- ・日程:2016年2月25日
- ・場所:京都市内
- ・参加者:港湾管理者・自治体等 6港6団体
〔網走港、伏木富山港、神戸港、徳島小松島港、下関港、北九州港〕

2016年度

■ 中国船社・旅行会社

- (天海郵輪、カイサ郵輪)
- ・日程:2016年10月19日
- ・場所:新潟市内
- ・参加者:港湾管理者・自治体等 6港8団体
〔横浜港、伏木富山港、金沢港、舞鶴港、北九州港、博多港〕

■ MSCクルーズ(伊)

- ・日程:2016年12月1日
- ・場所:名古屋市内
- ・参加者:港湾管理者・自治体等 8港11団体
〔室蘭港、四日市港、和歌山下津港、徳島小松島港、高知港、佐世保港、細島港、油津港〕

■ アザマラ・クラブ・クルーズ(米)

- ・日程:2016年12月2日
- ・場所:函館市内
- ・参加者:港湾管理者・自治体等 12港13団体
〔網走港、小樽港、大船渡港、茨城港、横浜港、伏木富山港、和歌山下津港、新宮港、日高港、鳥取港、北九州港、唐津港〕

■ ポナン(仏)

- ・日程:2017年1月27日
- ・場所:仙台市内
- ・参加者:港湾管理者・自治体等 21港17団体
〔大船渡港、能代港、船川港、秋田港、茨城港、横浜港、新潟港、小樽港、二見港、両津港、伏木富山港、下田港、清水港、四日市港、京都舞鶴港、和歌山下津港、日高港、新宮港、鳥取港、徳島小松島港、唐津港〕

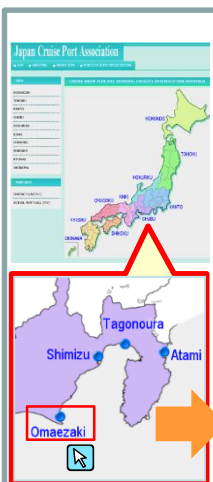
■ キュナード・ライン(英)

- ・日程:2017年2月23日
- ・場所:福岡市内
- ・参加者:港湾管理者・自治体等 15港16団体
〔函館港、秋田港、酒田港、清水港、四日市港、京都舞鶴港、和歌山下津港、日高港、新宮港、広島港、岩国港、下関港、高松港、北九州港、佐世保港〕

2. 寄港地の全国展開～寄港地情報の一元的な発信～

- 外国クルーズ船社等が寄港地を検討する際、港湾施設の諸元や港周辺の観光情報の提供が必要となる。
- これらの情報を一元的に発信するウェブサイトを開設(2013年3月)。引き続き、同ウェブサイトの周知・充実を図り、外国クルーズ船社等に必要な情報を積極的に発信。

【全国クルーズ活性化会議ホームページ (Japan Cruise Port Association)】 港湾施設等の情報を提供するウェブサイト(2013年3月掲載)



2016.5
掲載港拡充
(86港→95港)

Common Information

共通情報

PORT NAME: Port of Omaezaki(Shizuoka)
港名: 御前崎港
LOCATION / ADDRESS: 6129-1, Minato, Omaezaki City, Shizuoka 4371623 Japan
住所: 静岡県御前崎市港 6129-1
PORT CONTACT: Omaezaki Port Authority
連絡先: 静岡県御前崎港管理事務所
Phone: +81-548-63-3213
電話: 0548-63-3213
Mobile phone: 携帯: +81-548-63-2173
Fax: 0548-63-2173
E-mail: omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp
Website: http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki/
Other: その他:

Wharf (Pier) Information

埠頭別情報

Wharf (Pier) name: West Wharf(Berth No.3~5)
ふ頭名: 西埠頭 (3号~5号岸壁)

III. PHYSICAL CONSIDERATIONS

物理的留意事項

1. Berth 岸壁	Length / Water depth 延長/水深	①	390m / -7.5m
	Height of the pier above MLW or chart datum (平均干潮位又は海図基準からの) 岸壁の高さ	①	3.2m
	Pier depth (distance to the closest obstruction behind the pier edge) 岸壁の幅 (岸壁の端から背後障害物までの距離)	①	20.0m

【提供情報の内容】

- ・港湾管理者の連絡先
- ・クルーズ船の寄港実績
- ・大使館または領事館連絡先・所在地
- ・岸壁、ターミナル等の諸元及びサービス情報
- ・ふ頭位置図、ターミナル配置図 など

アクセスURL: <http://www.wave.or.jp/jcpa/>

CRUISE JCPA

検索

【国土交通省ホームページ (CRUISE PORT GUIDE OF JAPAN)】 港周辺の観光情報を発信するウェブサイト(2014年3月掲載)



2016.12
掲載港・観光情報拡充
(イベントスケジュール)
(81港→92港)

御前崎港周辺観光情報

御前崎海鮮なぶら市場

8店舗が集まった海産物では、御前崎港に水揚げされる海の幸を始め、全国津々浦々の海産物、観光土産品が揃っており、5店舗の食事処が並ぶ食遊館では、新鮮な海の幸を使った料理が楽しめます。200名収容の大食堂もあります。

所在地・開催地	〒437-1623 静岡県御前崎市港 6099-7
アクセス	港より徒歩 17分(2km) 個人車より車で6分(2km)
季節	通年
関連リンク	御前崎海鮮なぶら市場 http://nabula.jp/

御前崎灯台

1874年、イギリス人技師の監督のもとに誕生した白亜の洋式灯台。この灯台は一般公開されている参観灯台であるため、灯台上からは太平洋を一望することができ、曲線の水平線を望むことができます。天気が良ければ、伊豆半島、富士山、南アルプス、遠州灘を見渡すことができます。

所在地・開催地	〒437-1621 静岡県御前崎市御前崎 1581
アクセス	ツアー・貸車バスより車で10分(4km)
季節	通年
関連リンク	御前崎市役所 http://www.city.omaezaki.shizuoka.jp/shokan/kankokankou/map/todai.html

お問合せ【観光会館御前崎支所】
電話番号: 0548-63-2550

【提供情報の内容】(英語・日本語の2ヶ国語で掲載)

- ・寄港地周辺の観光情報 (グルメ、ショッピング、見どころ、トピックス)
- ・港周辺のイベントスケジュール
- ・港湾からの観光スポットまでの交通アクセス
- ・観光地のバス駐車可能台数
- ・関連リンク、問い合わせ先 など

アクセスURL: <http://www.mlit.go.jp/kankochu/cruise/>

CRUISE PORT GUIDE

検索

3. 国際クルーズの拠点形成～訪日クルーズ拠点港湾の形成に向けた港湾法の改正～

国際クルーズ拠点として国が指定した港湾において、民間による受入施設整備を促す協定制度を創設

<現状>

- ① 急増するクルーズ船の受入施設が不足、貨物ヤードでの旅客受入も発生
- ② クルーズツアーは1年以上前からの販売も多いが、岸壁の優先予約の仕組みがなく、ツアー造成に支障
- ③ 岸壁を長期優先使用できるなら、自ら旅客ターミナルビル等を整備する意欲を持つ船社が出現

<新たな制度の概要>

国が指定した港湾において、港湾管理者とクルーズ船社との間で、以下の内容の協定を締結できる制度等を創設。

- ・港湾管理者はクルーズ船社に岸壁の優先的な使用を認める
- ・船社は旅客施設を整備し、他社の使用も認める

【官民の連携による拠点形成のイメージ】

【岸壁の優先使用のイメージ】

・A社(協定船社)による予約(1年半程度前)

月	火	水	木	金	土	日
	A社		A社		A社	

↓

・A社の予約完了後、その他の社が予約

月	火	水	木	金	土	日
B社	A社	C社	A社		A社	

受入拠点の形成を図る港湾を国が指定

↓ 官民の連携により外航クルーズ船の受入れ拠点の形成を図る港湾を国土交通大臣が指定

港湾管理者が受入拠点の形成のための計画を作成

↓ 官民の連携により外航クルーズ船の受入れ拠点を形成するための計画を港湾管理者が作成。同計画に基づく工事の許可等の特例

港湾管理者が民間事業者と協定を締結

港湾管理者と施設所有者である民間事業者が、係留施設の優先的な使用、旅客施設の一般公衆への供用等に関する協定を締結

「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾

船社名 \ 港湾名 (港湾管理者)	横浜港 (横浜市)	清水港 (静岡県)	佐世保港 (佐世保市)	八代港 (熊本県)	本部港 (沖縄県)	平良港 (宮古島市)
カーニバル・コーポレーション&plc 世界で半分のシェアを持つクルーズ会社グループ (傘下: コスタ・クルーズ、プリンセス・クルーズ 等)	○		○			○
ロイヤル・カリビアン・クルーズ オアシス・オブ・ザ・シーズなど世界最大級のクルーズ船を有するクルーズ会社グループ (傘下: ロイヤル・カリビアン・インターナショナル 等)				○		
ゲンティン香港 アジア最大のクルーズ会社グループ (傘下: スター・クルーズ 等)		○			○	
郵船クルーズ 飛鳥IIを所有する邦船社	○					



【政府目標】

訪日クルーズ旅客
2020年500万人に
向けたクルーズ船
受入れの更なる拡充
(日本再興戦略2016)

地方の港湾におけるクルーズ船の受入れ事例

○クルーズ船が地方の様々な港湾に寄港することで、港に賑わいが生まれたり、地域と海外の交流が生まれたりといった効果が上がっている。

港における賑わい創出の事例

○地域の特色を活かしクルーズ船のお出迎えやお見送りによる「おもてなし」。

金沢港(石川県金沢市)



和装でのお出迎え
(平成28年7月27日 コスタ・ビクトリア)

函館港(北海道函館市)



いか踊りによるお見送り
(平成24年10月2日 アムステルダム)

○クルーズ船の寄港する埠頭において、臨時免税販売を実施。

伏木富山港(富山県高岡市)



埠頭における免税販売
(平成27年5月18日 ボイジャー・オブ・シーズ)

地域と海外の交流の事例

○クルーズ船寄港の際、地元高校生が外国人観光客向けに観光案内。

油津港

(宮崎県日南市)



英語を駆使して案内する高校生
(平成27年9月15日 セレブリティ・ミレニアム)

○地元市民ボランティアが中心となり、書道交流イベントを開催。

境港

(鳥取県境港市)



書道体験する乗客
(平成27年5月14日 ロストラル)

クルーズ船の寄港による文化交流(油津港(宮崎県日南市))

- 平成27年、油津港にはクアンタム・オブ・ザ・シーズ、セレブリティ・ミレニアム等の大型クルーズ船が寄港。
- セレブリティ・ミレニアム寄港の際、地元の日南振徳高校の生徒が外国人観光客向けに観光案内を実施。
- 高校生は、案内のための地域資源の勉強を行うとともに、案内後、日南市の観光に関する課題を市長に提言。
- 外国人観光客の訪問を通じて、若い人材の地域の魅力の再発見につながるなど、クルーズ船の寄港は観光消費をもたらすだけでなく、地域と外国の文化交流にもつながっている。



油津港の着脱式係船柱の設置



セレブリティ・ミレニアム(9万トン級)が入港



英語を駆使して案内する高校生①



英語を駆使して案内する高校生②



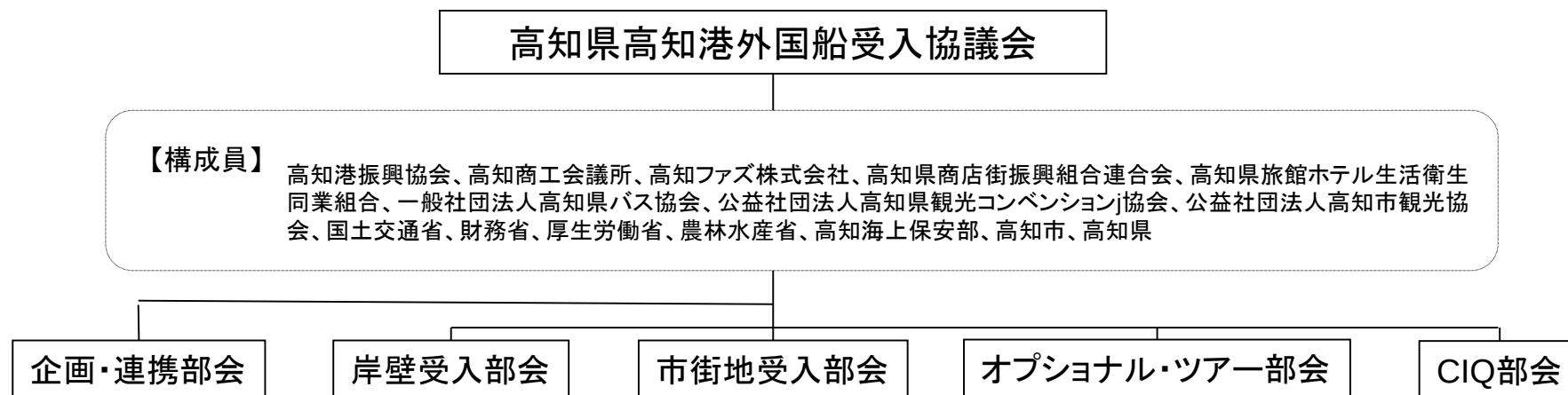
飢肥城を人力車でまわる外国人観光客



人力車を操縦する観光ボランティアも英語、中国語で説明

○ 平成28年2月29日に、官民の代表者からなる「高知県高知港外国船受入協議会」を設立し、クルーズ客船の受入体制や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組んでいる。

○ 「高知県高知港外国船受入協議会」の構成



○ おもてなし等の状況



歓迎のおもてなし「よさこい踊り子」と記念写真



「抜刀道演舞」では英語のアナウンス・ガイドも配置された



「よさこい」でお見送り

クルーズ船誘致・おもてなしの取組の例(広島港)

○ 平成26年4月23日に、官民の代表者からなる「広島港客船誘致・おもてなし委員会」を設立し、クルーズ客船の積極的な誘致や入港から出港までを通じたおもてなしの一層の充実等に取り組んでいる。

○「広島港客船誘致・おもてなし委員会」の構成

区 分	メンバー
行政機関	広島県、広島市、廿日市市、中国地方整備局、中国運輸局、広島県警察本部、広島入国管理局、神戸税関広島税関支署、広島検疫所、神戸植物防疫広島支所、動物検疫所神戸支所広島空港出張所、広島海上保安部(12団体)
公的機関等	広島観光コンベンションビューロー、広島県医師会、みなとオアシス広島運営協議会、HIROSHOMAフレンドシップ、日本郵便中国支社(5団体)
民間団体	広島商工会議所、廿日市商工会議所、五日市商工会、広島県バス協会、広島県タクシー協会広島支部、広島電鉄、広島銀行、日本旅行業協会中四国支部、中国旅客船協会連合会、広島みなと振興会(10団体)

○歓迎行事等の状況



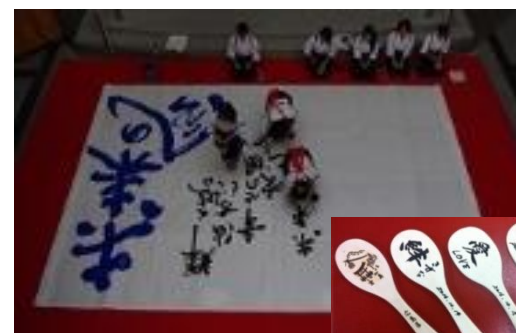
歓迎式典



見送り



移動式スーパー



書道パフォーマンス・交流イベント



広島市消防音楽隊・五日市高等学校吹奏楽部合同演奏